

## 第四〇章 教会・キリストのからだ、花嫁、報い

### I キリストと教会についての七つの比喩的表現

#### 1 羊飼いと羊（詩篇 23 篇、ヨハネ 10 章）

- ① キリストは門から来られた。定められたようにダビデの家系を経て来られた。
- ② キリストは真の羊を従えた、真の牧者である。
- ③ キリストは羊の門である。救いの門であり、永遠の確証を与える門である。
- ④ 真の牧者によって羊にいのちと食物が与えられる。
- ⑤ 他の牧者はただの雇い人である。羊のために命を捨てようとはしない。
- ⑥ 羊と牧者の間には交わりがある。羊はその牧者を知っている。
- ⑦ 旧約でイスラエルは別の囲いに属していたが、今の時代は群れも一つ、牧者も一人である。
- ⑧ 良い牧者としてキリストは羊のためにいのちを投げ出すだけでなく、彼らのためにとりなし、彼らの必要な霊的いのちと食物を与える。

#### 2 キリストはまことのぶどうの木、信者は枝である（ヨハネ 15 章）

これはキリストとの結合と、キリストとの交わりの両方を示している。信者は真のぶどうの木であるキリストと生きたつながりを離れては、クリスチャンとしてのいのちを受け取ることも、奉仕において実を結ぶこともできないということである。

#### 3 キリストは礎石であり、教会は建物の石を構成する（エペソ 2：20-22）

礎石であり土台であるキリストへの各信者の依存関係と共に、各信者同士の生ける石としての相互依存を表している。

#### 4 キリストは新約聖書では我々の大祭司として描かれており、信者は祭司として描かれている。

#### 5 キリストをかしらとし、教会をキリストのからだとする

#### 6 キリストを最後のアダム、教会を新しい創造とする比喩は、復活のキリストが古い秩序のかしらであるアダムにとって代わり、キリストにある新しい被造物のかしらとなられる。

#### 7 キリストを花婿、教会を花嫁とする比喩は、キリストと教会との間の現在及び将来の両方にわたる関係を預言的に表すものである。

### II キリストのからだとしての教会

コリント人への手紙第一 12：13 にはキリストのからだとしての教会が記されている。この比喩には三つの主要な真理が提示されている。

- 1 自己発展していくからだとして教会はエペソ 4：11-16 で、霊の賜物を持った個人によって構成されるものとして示されている。信者は自分に課せられた特別な役割をキリストのからだの中で果たした時に、正しい奉仕を成し遂げてキリストのからだを完成する業に与かるのである。
- 2 キリストのからだの構成員は、それぞれの賜物にふさわしい特定の奉仕に任ぜられている。信者は、神がどのような賜物を与えてくださっているか真剣に調べ、それを

神の栄光のために用いることが極めて重要である。

- 3 からだは永遠にキリストに結び合わされた生きた有機体である。エペソ 4：4-7 に強調されている、からだの一体性は永遠の一体性であって、今の時代におけるクリスチャンの交わりと奉仕の基盤であり、来るべき時代の永遠の交わりの根拠である。

### Ⅲ 花婿としてのキリストと花嫁としての教会

キリストと教会を表す比喩の中で、この比喩だけが預言的意味を持っている。エペソ 5：25-33 に、キリストの三重の働きが啓示されている。①その死においてキリストは「教会を愛し、ご自身を捧げられた。」(25 節) ②キリストは「教会を聖めて聖なるものとする」という働きに携わっておられる。(26 節) ③「ご自身で、聖くきずのないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。」(27 節) 十字架の死によってキリストは花嫁を迎えるための嫁資を支払われたのである。

この比喩の中に啓示された神の愛の五つの特徴をあげておこう。

- 1 神の愛の永遠の特徴は、「神は愛である」(Iヨハ4：8)という事実から発している。神は自己の努力や、いつでも放棄できるというような愛のとらえかたをしておられない。愛は神の存在の極めて本質的な一部なのである。
- 2 神の愛は止むことのない活動の動機である。神の愛は一度限り、愛する御子の犠牲の中に見られたけれども、それは神の永遠の態度の啓示であった。それは、失われた世に対する神の永遠に変わることのない愛の事実の宣言なのである。
- 3 神の愛は透明なまでの純粋さを持つ。神は我々から何も求められない。しかし、神は我々を必要とおられ、それは神の無限の愛が我々なしでは満足なさらないからにほかならない。
- 4 神の愛は限りない激しさを持つ。神は罪の中にある世を愛された。しかし、それ以上の「なおさら」の愛を教えられる。それは、キリストによって救われたものへの愛である。(ローマ 5：8-10、8：39)
- 5 神の愛は尽きない慈愛を示す。救いの恵み、愛による矯正や試練の中に神の大いなる慈愛を見ることが出来る。

### Ⅳ 飾られ、報いを受ける花嫁

聖書に示されているさばきの中で、クリスチャンに与えられるさばきがある。それはキリストのさばきの座である。これは、報いを受けるためのさばきであり、救いとは無関係である。

- 1 管理責任に対する報い (ローマ 14：10-12)
- 2 信者の生活に対する報い (Iコリ 3：9-15)
- 3 クリスチャンの生活と奉仕に対する報い (Iコリ 9：16-27)